

政策評価結果

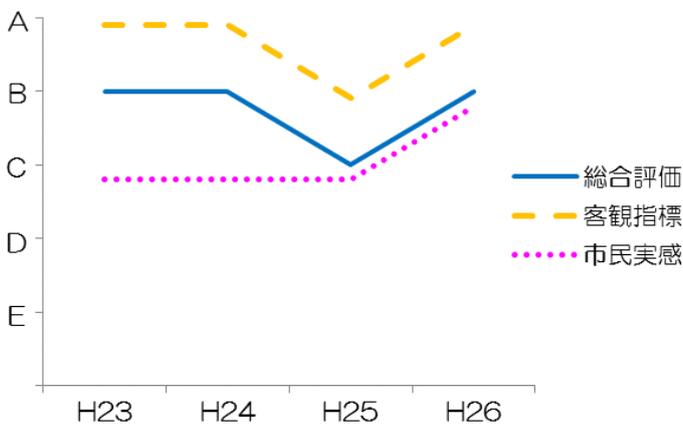
20 歩くまち

基本方針

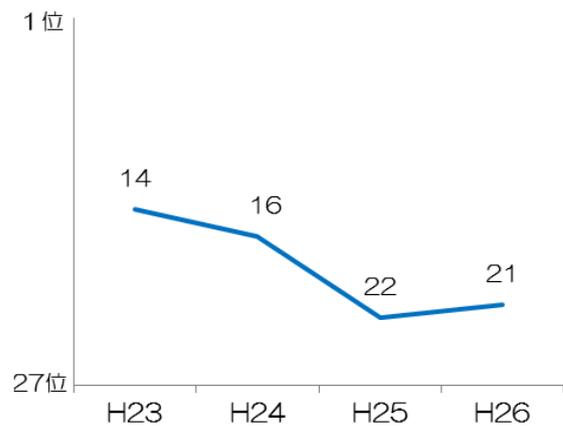
市民、事業者、行政が一体となって「歩いて楽しいまちづくり」を推進することにより、クルマを重視したまちとくらしを、京都にふさわしい「歩く」ことを中心としたまちとくらしに力強く転換していく。

政策評価の状況

政策評価（総合評価等）



政策重要度



客観指標評価

指 標 名	H23	H24	H25	H26
公共交通機関について残念と評価した割合	-	-	c	b
放置自転車台数	a	a	b	a

市民生活実感評価

指 標 名	H23	H24	H25	H26
京都では、過度な自動車利用を控え、歩くことを中心としたライフスタイル（くらし方、生き方）が大切にされている。	c	c	c	c
京都での移動には、公共交通が便利である。	b	b	b	b
歩いてこそ魅力を満喫できるまちとなっている。	b	b	b	b
まちなかや観光地において、自動車による渋滞が減っている。	d	d	d	d
地下鉄、市バスは、市民生活に役立っている。	a	a	a	a
駐輪場の整備や自転車の利用マナーの向上により、自転車と歩行者が共存できている	d	d	d	c

政策を構成する推進施策

世界トップレベルの使いやすさをめざした公共交通の再編強化

市内で運行する交通事業者等の連携によるネットワークを構築し、さらなる鉄道、バスの利便性向上策などを実施するとともに、バリアフリー化の推進、公共交通不便地域や観光シーズンにおける交通対策の強化などを実施する。

施策評価結果

H23 B ⇒ H24 B ⇒ H25 B ⇒ H26 B

客観指標評価

指 標 名	H23	H24	H25	H26
バリアフリー事業に着手した地区数の割合	-	a	a	a

歩く魅力を最大限に味わえるような歩行者優先のまちづくり

歩行者と公共交通を最優先とする快適な道路空間を構築するとともに、通過交通の抑制、物流対策、駐車場施策、パークアンドライドなどの適切な自動車利用の抑制策を推進する。

施策評価結果

H23 B ⇒ H24 B ⇒ H25 B ⇒ H26 B

客観指標評価

指 標 名	H23	H24	H25	H26
パークアンドライドの利用者満足度	a	a	b	b

歩いて楽しい暮らしを大切にするライフスタイルへの転換(「スローライフ京都」大作戦)

「歩くまち・京都」憲章の普及・啓発を推進するとともに、歩いて楽しい暮らしを大切にする動機付けのための情報や公共交通を利用する際に必要となる情報を、さまざまなメディアや機会などを通じて提供し、交通行動の振り返りや変更を働きかけ、ライフスタイルの転換を促す。

施策評価結果

H23 B ⇒ H24 C ⇒ H25 B ⇒ H26 B

客観指標評価

指 標 名	H23	H24	H25	H26
観光客公共交通利用割合	-	-	b	a

地下鉄の魅力向上とまちづくりへのさらなる活用

地下鉄を市民生活やまちづくりに積極的に活用するため、市バスをはじめとした他の公共交通機関とのネットワークの強化、駅ナカビジネスの充実など、その魅力を高め、公共交通優先の社会への転換と沿線地域の活性化を推進する。

施策評価結果

H23 **B** ⇒ H24 **A** ⇒ H25 **A** ⇒ H26 **A**

客観指標評価

指 標 名	H23	H24	H25	H26
地下鉄の旅客数	b	a	a	a

歩行者と共存可能な自転車利用の促進

駐輪施設の整備や放置自転車の撤去及び放置防止啓発活動を実施することにより、歩行者等の通行を妨げ、まちの景観を損なう放置自転車の減少を目指すとともに、自転車利用ルール・マナーの向上を図り、歩行者と自転車が安心・安全で快適に通行できる環境を実現する。

施策評価結果

H23 **C** ⇒ H24 **C** ⇒ H25 **C** ⇒ H26 **B**

客観指標評価

指 標 名	H23	H24	H25	H26
鉄道駅周辺における駐輪場の整備状況	a	a	a	a